

ここに遺す一つの種子は…

「完成した美しい堰と大河の流れは、悠久の自然と、一瞬の人生を告げます。この世界に生を受け、自然の恵みと先人たちの努力の上に現在があります。ここに遺す一つの種子は、その御礼です。それが確実に芽生え、より平和な世界につながるよう祈ります」

——中村 哲 (ペシャワール会報131号より)

ガンベリ農場の現在^{いま}

ドクターサーブ ナカムラの計画通りに

PMS (ピース・ジャパン・メデイカルサービス) 副院長/ジャカラバード事務所所長 ジアウル ラフマン

敬愛する日本の皆様、いつも温かいご支援をいただき、ありがとうございます。

全長二七キロのマルワリード用水路は、三五〇〇ヘクタールの農地に灌漑用水を供給し、約一大家族が直接的に恩恵を受けています。また、間接的に約七万家族が生計を立てることが出来ております。

二〇〇九年にマルワリード用水路がガンベリ沙漠に到達した際、そこで農業事業を行うべく、グラエヌールで行われていたPMSの試験農場をガンベリに移しました。そのためPMSは二三五ヘクタールの土地を二〇年契約でアフガン政府から借り受けました。

私たちの目的は、二〇年間でこの土地を農地に変え、農作物の収穫高を上げるとともに、地域住民に農業設備を提供し、同地域の農民や牧畜業の経済状況を向上させることです。国内農業生産が増大すれば、麻薬原料の栽培を防ぐことにもつながります。

活動内容

1. 人工林造成 (防風・防砂林)

二〇〇八年からガンベリ沙漠で始められた植樹は、全長五キロ、幅二〇〇メートル以上の樹林帯となり、ユーカリ、シーシャム、ガズ(紅柳)など多様な種類の樹木が成長しています。防風・防砂に加え洪水の緩流化や防止に、また家畜の牧草地としても効果をあげています。この樹林帯に沿うマルワリード用水路や隣接するPMSのガンベリ農場とも一体化し、環境や美観にも貢献しています。

この沙漠に植えられた樹木数を、二〇〇三年から用水路沿いに植樹された数に加えると優に一〇〇万本を超えています。

2. 土壌改良

ガンベリ農場は沙漠で、土壌は栄養分が少ないため、開墾について農業局に相談したところ、土壌サンプルを採取しpH値を測



PMSガンベリ農場での養蜂事業 (2020年)

定してくれました。その結果、pH値はおよそ八・四八とアルカリ性が強く、リンとカリウムの割合は低めでした。

この土壌診断結果を踏まえ、ドクターサーブナカムラと故高橋修氏(二〇〇二年からPMSの農業指導を担当)の指導で、数年間はアルファルファ、クローバー、飼料用豆類、ササゲ、落花生、大豆などマメ科植物を植え、緑肥としてすき込んで土壌を改良していきました。

最初の土壌診断の一年後に二度目の診断をすべく、今度はサンプルを日本に送りま

した。その結果、土壌改良のためにマメ科植物と稲の栽培をすると良いとアドバイスを受けました。

現在も開墾が続けられているPMSのガンベリ農場は、長期にわたる激しい砂嵐による砂の移動で、場所によっては三メートルの堆積した砂の層があります。開拓には根気が要りますが、農場のAとDブロックでは小麦、米、サトウキビ、野菜、イチゴ、果樹などの栽培を行っています。詳細は以下に述べます。

穀物は、米を現在十一・四ヘクタールに作付け済み、小麦は冬季に播種予定で、昨季は約四一ヘクタールに作付けを行いました。この農場のCブロックに、ドクターサーブナカムラの記念塔を建設中です。

3. 果樹園

果樹園には、スイートオレンジ(甘橙)、オレンジ、グレープフルーツ、桃、杏、ザクロ、リンゴ、イチジク、グアバなど、試験栽培中の果樹を含め七六種類が植えられています。農業担当のアジュマルも申しておりますが、将来は様々な種類の果樹を苗から育てて、色・味・果汁を観察しながら高品質の果物を市場に提供していきたいと考えています。

現在の栽培は大まかに次の通りです。
・スイートオレンジ…一七ヘクタールに六四二九本。

・オレンジ…二〇ヘクタールに八七四七本。
・レモン…一四・五ヘクタールに数種類のレモン五一九一本。

・ナツメヤシ…二ヘクタールに四六四本。
4. 植樹と養蜂

ビエラは、将来の養蜂を考え二〇〇八年から一四年にかけて四五〇〇本を五・一ヘクタールの土地に植樹しました。昨年、日本から山田堰土地改良区の徳永哲也氏が農業指導のためPMSを訪問された際に、巣箱五〇箱で養蜂計画が開始されました。

ドクターサーブナカムラはジャララバード宿舎での朝食には、いつもビエラの蜂蜜をナンにつけて食べておられたので、自家製のビエラの蜂蜜が出来るのだと、たいそう喜んでいらっしやいました。その時の笑顔が私の胸に焼き付けられています。

いまでは巣箱を六三箱に増やし、純粋な蜂蜜を市場に出荷するまでになっています。PMSガンベリ農場には養蜂に適した草木が充分育ってききましたので、ドクターサーブの計画通り(何と素晴らしいお考えだったでしょう!)徐々に巣箱を増やしていく予定です。

5. 育苗場

育苗場は、一・二ヘクタールを確保し、防風林として植樹しているユーカリやガズをここで育苗しています。他に野菜、果樹などの苗も作っています。柑橘類は長い間バ

ザールから苗を購入していたのですが、品質が悪く結果しなかったり、味が悪いものも多くて困っていました。ある日、ドクタ―サーブから「なぜ自分たちで苗を作らないのですか？」と言われた事をきっかけに、今ではレモンやスイートオレンジの苗木もこの育苗場から果樹園に移植できるように

百年に一度の大洪水

村人に笑顔が戻るまで

PMS（ピース・ジヤン・メデイカルサービス） 技師

デイダールムシユタク
ファヒームシエルザド

マルワリード用水路、深刻な被害

二〇二〇年七月三一日から八月一日にかけての夜半、ナンガラハル州とラグマン州の山岳部一帯で局地的な豪雨があり、ナンガラハル州側のシェイワ郡ウォレスダラ（ウォレス谷）に激しい鉄砲水が発生しました。この谷を横断するマルワリード用水路（M・N地区）を乗り越えて土石流が流れ下りました。この大洪水で同谷の多くの家屋が全壊あるいは半壊の被害に遭い、二六三世帯が被災しました。洪水による死者は女性・

なっています。今後多種の育苗を試みて地域に貢献していきたいと思えます。

PMSのガンベリ農場の事については、堆肥づくりや牧畜、給水・排水のこと等お伝えしたい事がまだまだありますが、次回にさせて頂きたく存じます。

ご支援に心から感謝申し上げます。

子供を含む一六人。家畜八〇頭以上が土砂に埋まってしまいました。

また、マルワリード用水路N地区の一・五キロで深刻な被害を受け、水路・サイフォン・橋などが大岩や土砂で完全に埋まりました。用水路両側に植樹された柳でかろうじて用水路の位置が確認できるほどで、送水は全く出来なくなっていました。

シェイワ村の長老方からの情報によると、今回の洪水（鉄砲水）は、過去百年間起きたことのない規模だったそうです。

八月三日、私たちは現場に赴いて被害状



土砂かき出し作業中。マルワリード用水路N地区サイフォン（40m）出口から用水路付近。写真左はファヒーム技師（2020年8月5日）

況を調査し、用水路の修復計画を立て、日本の本部に伝えたところ、地域住民が育てている農作物に給水出来るよう、用水路の浚渫は作業員を増やしてでも直ちに行うべきだとのアドバイスを受けました。

私たちはその週の木曜の半休と金曜の休みを返上して工事をする事に決めました。このマルワリード用水路の末端に位置する